

あこう



市議会だより

第174号



令和7年1月10日発行

迎春

- 2～3P ・議長新年のごあいさつ・各会派から新年の抱負
- 4P ・令和5年度決算審査
- 5～6P ・11月定例会より・一般質問者と質問事項
- 6～7P ・議案等の議決結果・議員別賛否
- 8P ・幹線道路・河川整備特別委員会が県へ要望書を提出
- 8P ・令和6年議会のあしあと・議会活動状況・編集後記



本会議にて義士法被で赤穂義士祭をPR

発行・赤穂市議会

編集・議会報編集委員会

ホームページ

赤穂市加里屋31 TEL 0791-43-6876 FAX 0791-43-6893

赤穂市議会

検索

QRコードより
赤穂市議会の
ホームページを
閲覧できます▶



新年のごあいさつ

赤穂市議会議長 土遠 孝昌

令和7年の輝かしい新春を、すがすがしい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、市議会に対し、温かいご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は能登半島地震及び豪雨など、全国各地に多くの自然災害が発生し、甚大な被害をもたらしたところであります。さらには、8月に発生しました宮崎県日向灘を震源とする「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表され、次なる大規模地震に対する関心が高まっております。市議会では震災の危険性が身近にあることを再確認し、今後の防災対策の取組みについて研修会を開催し、一人一人が災害に備えることの大切さを再確認したところであります。

本市では、母子保健機能と児童福祉機能を一体化した「こども家庭センター」を設置し、全ての妊産婦や子供、子育て世帯に対して、切れ目のない支援の充実に努めております。

また、赤穂市地域公共交通計画に基づき、将来にわたって持続可能な公共交通体系の構築に向け取り組んでいるところであります。

しかしながら、市民病院の経営問題をはじめ、人口減少問題への対応、大規模自然災害に備えた河川等改修の早期完了、高取峠トンネル化など、行政課題が山積しております。市議会といたしましては、市と連携し、関係機関への要望活動など継続して行ってまいります。

さらに、産業廃棄物最終処分場建設計画に対しても、昨年、全議員で市内JR駅において反対運動のPR活動を実施したところであり、今後も継続して赤穂市民の命の水である千種川を守っていく覚悟であります。

本年4月には市議会議員の改選が予定されておりますが、本市を取り巻く厳しい行財政環境や住民団体等の意見にも配慮しながら、一方では、行政のチェック機能として民意の反映に支障を来さないようにと、現行定数「18人」を1人減の「17人」とし選挙に臨むこととなります。今後も市民の皆様の声に耳を傾け、誰もが安全に安心して心豊かに暮らせる赤穂市の実現に向けて議員一同全力を尽くしてまいります所存です。

結びに、市民の皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

各会派から新年の抱負

新 風

代 表 釣 昭彦
幹 事 長 奥藤 隆裕
会 計 山野 崇
会 員 西川 浩司



赤穂市の未来、さらにその先へ

新年おめでとうございます。新風は多彩な個性のメンバーが集い、常に活発な議論を交わしながら、教育や福祉、スポーツ、そして地域の活性化に向けて、具体的な政策を提言してまいりました。市民が安心して暮らせる赤穂市の未来を見据え、必要な課題に全力で挑みます。

千 種

代 表 田淵 和彦
副 代 表 井田佐登司
会 計 安田 哲



未来に向けたまちづくり

新会派を結成して4年が経とうとしています。議会、赤穂市政における課題が山積するなか、会派千種としての活動を更に強化していくことが必要だと感じています。市民の声を聴きながら、行政とともに赤穂市の20年、30年先を見据えたまちづくりに取り組んでまいります。

赤 諒 会

代 表 中谷 行夫
会 計 榊 悠太
会 員 土遠 孝昌



若者が住み続けられるまちへ

人口減少を防ぐには、若者が地元に残りたくする環境づくりが必要です。魅力的な雇用機会を創出し、教育や子育て支援を充実させ、子育て世代が安心して出産、子育てができるまち。若者が躍動し、子供の笑顔があふれる赤穂市を目指して積極的に取り組んでまいります。

公明党

代 表 前川 弘文
会 計 南條千鶴子

**共に支え合う温かなまちを**

続く物価高、少子高齢化、激甚化・頻発化する自然災害等、先行きの見えない不安が高まる中で、安心と希望が見える社会が求められています。お一人お一人の声をお聞きし「住み続けたい」と実感できる「共に支え合う温かなまち」を目指し全力で取り組んでまいります。

政翔会

代 表 家入 時治
会 計 山田 昌弘

**市民の満足度が高くなるように**

市民の皆様が求めるもの、市ができることの狭間を埋めていくことが私たちの役割だと考えます。赤穂市が直面している市民病院の経営問題、美化センターのあり方、子育て支援の充実や高齢者福祉など、常に市民の皆様の声を大切に、私たちの経験も活かし活動していきます。

清和会

代 表 瓢 敏雄
幹 事 長 前田 尚志

**明るい未来と安全・安心のため**

明るい未来と安全・安心の実現のため、一つひとつの課題を先送りせず議論することが赤穂の将来につながると信じ、清和会はこれからも皆様の声を丁寧に聴き、積極的な議員活動を行っていくとともに、議会活性化の推進に、さらに取り組んでまいります。

**会派に
属さない議員**

深町 直也

**市民が主人公の市政を目指して**

一期目の議員としての任期もあと数か月となりました。これからも、市民の皆さんが使いやすい公共交通の実現、市内2か所の産廃建設絶対阻止、憲法を生かす政治、市民の皆さんの命と暮らしを守り、市民が主人公の市政を目指して頑張ってまいります。

**会派に
属さない議員**

荒木 友貴

**赤穂市の将来を見据えた行動を**

信念と探究心を忘れず、赤穂市の将来にとって何がベストか責任を持って選択する姿勢を持ち続けます。また、対話を重視し、異なる意見の方ともお互いに尊重し合える関係性を大切にしたいと思います。赤穂市のために「繋げる・広げる・行動する」を軸に頑張ります。

令和5年度決算を審査

11月定例会の初日に、決算審査等の経過並びに結果について、決算特別委員長から報告されました。その後、委員長報告に対する質疑、討論を経て、表決の結果、決算については、一般会計及び後期高齢者医療保険特別会計に係る2議案については、賛成多数で、その他の8議案については、全会一致で認定しました。(詳細は6ページを参照) なお、10月24日(木)には、市長に対し以下の項目について総括質問を行いました。

総括質問

1. アフタースクール子ども育成事業及び整備事業について

問 受入れ体制の充実について

教育長 アフタースクールの人員については、クラスごとに支援員を2名以上、また利用人数に応じた補助員を配置している。人員確保には大変苦慮しているが、今後の利用児童の動向を踏まえ、適切に人員配置していきたい。

支援員等については、放課後児童支援員認定資格研修の受講奨励や外部講師による職員研修などを実施しており、子供の年齢別の特徴や障がいの特性、その対応等について学べるよう努めている。

外部人材の活用については、作業療法士の派遣以外にも重度心身障がい児の利用にあたり、業務委託を導入している。また、ボランティアによる工作教室を開催するなど、各アフタースクールにあった運営に努めている。

問 環境整備について

市長 城西アフタースクールの増設については、令和5年度に実施設計をしたところではあるが、工事費の高騰及び将来にわたっての利用児童の見込み数を鑑み、整備については今後の課題としている。また、トイレ改修については、必要な整備と考えているため、引き続き検討する。坂越アフタースクールについては、利用児童の増加に伴い、令和4年度に整備したところであるが、今後、坂越小学校の児童数やクラス数の増加が見込まれるため、学校とも協議を行い検討していく。

アフタースクールの小学校施設の利用については、利用児童の学習や遊びの場として特別教室や運動場、体育館を利用している。引き続き各小学校と連携を図り、良好な環境整備に努める。

総括質問

2. 学校教育におけるICT化の推進について

問 タブレット端末の活用について

教育長 本市においても児童生徒に一人一台のタブレット端末を配布し、小学校でほぼ全員、中学校でも半数程度の教員が活用している。使用頻度の低い教員がいることは課題としてとらえ、啓発を続けているところである。

問 ICT利活用における教員に対する支援について

教育長 教員の授業におけるタブレット端末の利活用については、現在、教育研究所に設置のICT研究部会の部員による研修、それに伴う各学校における伝達講習を行っている。またICT研究部会が作成している「タブレット活用実践集」の活用等についても、研修機会を設けている。その結果、積極的に活用している教員の数は年々増えており、確実に成果も上がっている。現在、教育委員会には情報教育を専門に担当する者がいないが、他市町にはない研究部会があり、教育委員会としてはその研究部会を今後とも支援していく。

.....

【審査日程】

- 9月26日(木) 市民病院、上下水道部
- 10月 3日(木) 議会事務局、会計課、監査委員事務局、選挙管理委員会、公平委員会事務局、総務部、市長公室(危機管理監含む)
- 10日(木) 市民部、健康福祉部、建設部、産業振興部、農業委員会
- 17日(木) 消防本部、教育委員会
- 24日(木) 市長に対する総括

11月定例会より

令和6年11月（第4回）定例会を、11月22日から12月10日までの19日間にわたり開催しました。

この定例会において、継続審査中の令和5年度決算審査等について委員長報告を行い、その後、質疑、討論、表決を経て認定、可決しました。

また、令和6年度一般会計補正予算、専決処分報告、条例の一部改正、事件決議など27議案を審査し、1議案を賛成多数で可決、26議案について全会一致で承認、同意、可決しました。（詳細は6・7ページを参照）

一般質問は、12月9日、10日の両日で行われ、14名の議員が登壇し、牟礼市政を質しました。

議員研修会の開催

震災の危険性が身近にあることを再確認し、地震に関する知識を深め、今後の防災対策の取組みについて、下記のとおり研修会を開催しました。

日時 令和6年11月1日（金）午後2時～
場所 赤穂市役所 6階大会議室
講師 兵庫県立大学 教授 木村 玲欧 氏
演題 南海トラフ巨大地震を乗り越える
 ～孤立する赤穂市が自衛すべきこと



一般質問者と質問事項（質問順、質問項目のみ記載）

1 釣 昭彦 議員

- デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進について
- 小中学校のプールの在り方について
- 兵庫県知事選挙における県内2市長の特定の候補者支援について



2 中谷 行夫 議員

- 小中学校のトイレの洋式化について
- 赤穂市民病院の経営改善の取組みについて
- 赤穂大橋の補修計画について
- 赤穂大橋線街路事業及び密集住宅市街地整備促進事業の今後の取組みについて
- 赤穂市の助成事業等の利用促進について



3 家入 時治 議員

- 職員のハラスメント防止対策について
- 赤穂市民病院のあり方について



4 田淵 和彦 議員

- 市道塩屋御崎線（城西地区～県道32号間）の歩道の街路樹について
- 通学路の点検と対策について
- 県道赤穂佐伯線道路改良事業について
- 県道高雄有年横尾線道路改良事業の北工区の2車線化について
- 落石防護柵の設置について
- 市役所や赤穂市民病院への遠隔手話通訳サービスの導入について



5 井田 佐登司 議員

- 道路整備について
- 2025年の赤穂義士祭について
- 兵庫県知事選挙について



6 前川 弘文 議員

- 結婚を希望する人への支援について
- ノーコードツールを活用した職員による業務アプリ開発の推進について
- 市営住宅の地域対応活用について
- 市道のセンターライン等の引き直しについて
- 下水道マンホールのふたが飛ぶエア－ハンマー現象対策について



7 前田 尚志 議員

- 土地利用の推進について
- 文化に親しめるまちづくりについて
- スポーツに親しめるまちづくりについて



8 深町 直也 議員

- 県内唯一継続予定と報道された育休退園制度について
- 赤穂市民病院の医師確保について
- 赤穂市上下水道事業在り方検討委員会の答申について



9 南條 千鶴子 議員

- 子育て世帯訪問支援事業について
- 全ての子育て家庭を対象とした保育の拡充（こども誰でも通園制度）について
- マイナ保険証の普及と利用促進等について



10 荒木 友貴 議員

- こども・若者のニーズを踏まえた将来につながる居場所づくりについて
- 政策法務スキルの向上と赤穂市版「行政リーガルドック」の実施について
- 赤穂市役所のコンプライアンスリスクに対する意識の徹底と組織運営・人材育成について



1.1 山田 昌弘 議員

- J R 有年駅を中心とした地域活性化について
- デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進について
- 豪雨災害に対応した防災体制の強化について



1.2 安田 哲 議員

- 子どもの歯・口腔の健康づくりについて
- 地域少子化対策重点推進交付金の活用について



1.3 瓢 敏雄 議員

- 高校生等医療費助成制度の拡充について
- 学校給食費無償化に向けて議論は行っているのか
- 令和6年第3回定例会の一般質問、第3セクター「赤穂駅周辺整備事業」の損害賠償金に関するその後の状況について
- 赤穂市民病院の信頼回復に向けての責任について
- 職員不祥事における市長、副市長の責任について
- 関西電力株式会社赤穂発電所の廃止について



1.4 奥藤 隆裕 議員

- 誹謗中傷文書問題と学校統廃合について



11月(第4回)定例会議案等の議決結果・議員別の賛否

賛成：○ 反対：× 欠席：欠 ※議員は議席順

議案等番号	件名	議決結果	西川浩司	山野崇	南條千鶴子	安田哲	井田佐登司	荒木友貴	深町直也	中谷行夫	榎悠太	釣昭彦	奥藤隆裕	前川弘文	前田尚志	瓢敏雄	田淵和彦	家人時治	山田昌弘	土遠孝昌
認第1号	令和5年度赤穂市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第2号	令和5年度赤穂市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第3号	令和5年度赤穂市職員退職手当管理特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第4号	令和5年度赤穂市墓地公園整備事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第5号	令和5年度赤穂市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第6号	令和5年度赤穂市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第7号	令和5年度赤穂市病院事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第8号	令和5年度赤穂市介護老人保健施設事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第9号	令和5年度赤穂市水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第10号	令和5年度赤穂市下水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報第15号 専第6号 専第7号	専決処分の報告について 令和6年度赤穂市一般会計補正予算 令和6年度赤穂市一般会計補正予算	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第87号議案	令和6年度赤穂市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第88号議案	令和6年度赤穂市国民健康保険事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第89号議案	令和6年度赤穂市職員退職手当管理特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第90号議案	令和6年度赤穂市介護保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第91号議案	令和6年度赤穂市病院事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第92号議案	令和6年度赤穂市介護老人保健施設事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第93号議案	令和6年度赤穂市水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第94号議案	令和6年度赤穂市下水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第95号議案	姫路市及び赤穂市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部を変更する連携協約を締結することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長のため、表決には加わりません。

賛成：○ 反対：× 欠席：欠 ※議員は議席順

議案等番号	件名	議決結果	西川浩司	山野崇	南條千鶴子	安田哲	井田佐登司	荒木友貴	深町直也	中谷行夫	榊悠太	釣昭彦	奥藤隆裕	前川弘文	前田尚志	瓢田敏雄	田淵和彦	家入時治	山田昌弘	土遠孝昌	
第96号議案	ごみ処理施設大規模改修工事請負契約の締結に係る議決変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第97号議案	財産の無償譲渡について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第98号議案	公用車の交通事故に係る損害賠償の額の決定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第99号議案	赤穂市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第100号議案	令和6年度赤穂市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第101号議案	令和6年度赤穂市国民健康保険事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第102号議案	令和6年度赤穂市職員退職手当管理特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第103号議案	令和6年度赤穂市介護保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第104号議案	令和6年度赤穂市病院事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第105号議案	令和6年度赤穂市介護老人保健施設事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第106号議案	令和6年度赤穂市水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第107号議案	令和6年度赤穂市下水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第108号議案	議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第109号議案	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第110号議案	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第111号議案	赤穂市学校給食調理員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第112号議案	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長のため、表決には加わりません。

幹線道路・河川整備特別委員会が県へ要望書を提出

幹線道路・河川整備特別委員会では、安全で円滑な交通体系の確保や地方創生によるまちづくりを推進するため、令和6年12月16日（月）に西播磨県民局、19日（木）に兵庫県庁を訪問し、赤穂市内の幹線道路や河川・砂防えん堤の整備促進、また国道250号高取峠トンネル化及び4車線化のひょうごインフラ整備プログラム西播磨地域への位置づけについて要望しました。



兵庫県庁にて



西播磨県民局にて

令和6年 議会のおしあと

◆ 議会の開催状況

区分	会期	本会議日数	質問者数	
定例会	第1回(2月)	31	6	7
	第2回(6月)	18	4	15
	第3回(9月)	18	4	13
	第4回(11月)	19	4	14
	計	4回	86	18
臨時会	2回	2	2	-
年間合計	6回	88	20	49

◆ 委員会の開催状況

名称	委員会			協議会	
	会期中	閉会中	合計		
常任委員会	民生生活	5	1	6	5
	建設水道	4	1	5	10
	総務文教	5	1	6	7
	合計	14	3	17	22
特別委員会	幹線道路・河川整備			2	
	決算			6	
	市民病院経営改善調査			5	
議員協議会				0	
議会運営委員会				20	
会派代表者会				16	
議会報編集委員会				11	

◆ 請願・意見書の審議結果

区分	件名	結果
請願	1 生涯を通じた国民皆歯科健診の実現を求める意見書に関する請願	採択 全会一致
	2 少人数学級推進などの定数改善と義務教育費国庫負担率2分の1復元をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の請願について	採択 全会一致
	3 「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の請願について	採択 全会一致
意見書	1 生涯を通じた国民皆歯科健診の実現を求める意見書	可決 全会一致
	2 少人数学級推進などの定数改善と義務教育費国庫負担率2分の1復元をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書	可決 全会一致
	3 「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書	可決 全会一致
	4 厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書	可決 賛成多数

議会活動状況

11月

- 1日・議員研修会(演題:南海トラフ巨大地震を乗り切る~孤立する赤穂市が自衛すべきこと)
- 7日・福岡県川崎町議会行政視察(来庁)
- 12日・第268回播但市議会議長会(姫路市)
- 13日・建設水道委員会協議会
- 14日・東京あここのつどい(東京都)
- 15日・議会運営委員会
 - ・会派代表者会
 - ・議会報編集委員会
- 19日・京都府宮津市議会行政視察(来庁)
- 21日・「地方行財政・金融講演会」(神戸市)
- 22日・本会議[第4回定例会開会](決算表決・報告・議案説明)
- 25日・本会議(議案質疑等)
- 28日・民生生活委員会
 - ・民生生活委員会協議会
- 29日・建設水道委員会
 - ・建設水道委員会協議会

12月

- 2日・総務文教委員会
 - ・総務文教委員会協議会
 - ・会派代表者会
 - ・議会運営委員会
- 3日・議会報編集委員会
- 9日・本会議(一般質問9名)
- 10日・本会議(一般質問5名・議案表決等)[第4回定例会閉会]
- 12日・議会運営委員会
- 16日・幹線道路・河川整備特別委員会県要望(西播磨県民局)
- 19日・幹線道路・河川整備特別委員会県要望(兵庫県庁)
- 20日・議会報編集委員会
- 24日・東備西播定住自立圏形成推進協議会(赤穂市)
- 26日・市民病院経営改善調査特別委員会

編集後記

あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
今年も、皆様がより議会に関心を持っていただけるような紙面づくりに努めてまいりますので、よろしく願いいたします。
※表紙写真は「赤穂市御崎 大塚海岸」から望む朝日です。